



國學院大學
 栃木中学高等学校
 〒328-8588
 栃木市平井町608
 ☎(0282)225511
 校報編集部

令和四年を振り返って

教頭 飯村 友季子



年の瀬が間近に迫り、やはり令和4年という年を振り返りかえらざるをえない。残念ながら新型コロナウイルスは収束せず、世界に目を向けると、ロシアによるウクライナ侵攻により、目や耳を塞ぎたくないような情報飛び交った。円安で苦しむ日本にもその負の影響は大きく、エネルギー資源の高騰をはじめとする物価高など、日本国民の生活を揺るがす事態となっている。現在、半導体不足で新車を注文しても納車が1年や2年先になるそうである。

本校の1年間を振り返る

このように暗いニュース

が多い年ではあったが、本校は年明け早々、ラグビー部の全国準優勝で華々しくスタートした。多くの生徒がその頑張りに感動し、勇気もらった。

さらに夏になると野球部が37年ぶりに夏の甲子園出場を決めた。コロナ禍のため応援団は希望者で編成された。県大会でのあきらめない粘り強さに感動した多くの生徒たちが参加した。野球部の戦いぶりだけでなく、応援席の一体感に感動し、バス2泊という過酷な行程の応援に3回戦まで毎回参加する生徒も多かった。生徒も教員も夢中になった。さらにそんな中、囲碁で全国準優勝という嬉しい知らせも入った。

2学期に入り、2年中止されていた文化祭を制限付きで実施した。部活動の参加も、ホームルーム参加も力作が多かったが、何より

〈1月の行事予定〉

- 6日 第1回高校入学試験
- 7日 第2回高校入学試験
- 10日 始業式
美化の日(中・高)
百人一首カルタ大会(中)
- 12日 1・2年校内実力試験(高)
- 13日 3年授業最終日
- 14日 父母会新年会(中・高)
Sコース併願合格者説明会(高)
第2回ホームステイガイダンス(中)
- 14・15日 大学入学共通テスト
- 16日 1・2年進研総合学力テスト
- 19日 1年百人一首カルタ大会
2年共通テストチャレンジ(高)
- 20日 第3回英検一次(中)
- 21日 第3回英検一次(高)
第3回入学試験(中)
- 23日 第1回卒業判定会議(高)
- 27日 1年小論文模試(高)立志式(中)
- 28日 第3回高校入試
- 30・31日 第3回学力推移調査(中)

も生徒たちの目が輝いていた。自分たちの手で苦労しながら作り上げ、発表する文化祭は、いつもこのように生徒たちの誇らしげな姿で満ちあふれていたものだ。懐かしさがこみ上がった。

冬休休暇の過ごし方

10月には「いちご一会」とちぎ国体」が行われた。本校からも選手として、ボランティアとして多数の生徒たちが参加し、貴重な体験ができた。中学生はのぼりやポスターの作成や、会場を飾る花を育てるといった形で参加をした。本校体育館がハンドボール競技の会場だったことから、競技観戦に参加した生徒たちもいた。様々な形で多くの生徒たちが参加した「いちご一会」とちぎ国体」は大成功に終わった。もちろんラグビーが3位、野球も3位、なぎなたが演技で4位、試合で3位という輝かしい成績も忘れてはいけない。

11月も中学校の校外学習やマラソン大会は予定通り行われ、本校の令和4年はコロナ禍でも常に躍動感のある、感動の多い一年だったと言える。また、今月末「カンボジア・ベトナム国際研修」から海外研修も再開される。少しずつ、本来の國柄の姿に戻りつつある。

三年生へのエール

さて、冬休みを目前にして、生徒の皆さんはどのような計画を立てているのだろうか。時にはスマホの画面を離れて読書してみるのはいかがでしょうか。私も普段はそれほど本を読まないが、高校生の時は先輩に勧められて、三島由紀夫の作品を読んだ。独特の世界観を当時どれほど理解していたかは疑問だが『仮面の告白』『金閣寺』『豊穣の海』など難しいとされる作品を読破して得意になったものだった。大学生になると英文学を専攻したこともあり、外国文学を読んだ。シェイクスピアは一人で観劇にも出かけた。変わったものではウイリアム・ゴールディングの『蠅の王』という作品には強烈な印象を受け、改めて人間の奥底に潜む残酷さに震撼したことを覚えている。また、数年前、たまには文学作品でもと思い、本棚で埃をかぶった本の中から大宰治の『斜陽』を読んだ直後、つい自分の母親に向かって「お母さまと呼びかけようとして、笑いがこみあげたこともある。もちろん、映画やアニメなどにも観るべき傑作はたくさんあるが、読書の面白ところは、登場人物の顔や姿、情景など自分の頭で勝手に想像しながら読むことで一層その世界に没頭するところだ。映画やアニメ鑑賞などにはない楽しみが鑑賞などにはない楽しみが味わえるのだ。しかも読書の後はなぜか世界が広がったような気がするものである。ぜひ普段読書しない人は試してみてほしい。

そして、これからが勝負となる三年生もたくさんいる。大学入学共通テストまで1か月を切った。受験生の皆さんにエールを送りたい。これまでの模擬試験であまり良い結果が得られなかった人もいるだろう。しかし、今ここで諦めるべきではない。「現役生の学力は最後のラストスパートで限りなく伸びる」ということを何度か耳にしていると思う。実際、先輩たちにも、

D判定やE判定を、この冬休みから受験が終わるまでの不断的努力で覆し、合格を勝ち取った人が数え切れないほどいた。まず「やれば絶対できる」と己を信じること。そして試験が始まる直前まで粘り通すこと。直前に見ていた問題が試験に出たという話はよく聞く。しかしそれは最後の最後まであきらめなかったからこそ得られた幸運なのだ。そして最も大切なことは一日一日を平常心で規則正しく生活することだ。全体的な基本となる健康を維持するためにも、また入試本番で最高の集中力と最高の思考力を発揮するためにも最も大切なことかもしれない。「焦り」は「集中力」で撃退しよう。そしてもう一言「敵は他者ではなく自分なのだ。負けそうになる自分が最大の敵なのだ。辛く苦しいのは自分だけではない。仲間たちも皆同じ思いで頑張っている。受験は「団体戦」とも言われるが、仲間と共に頑張る心強さが一人ひとりの努力を後押ししてくれるものなのだ。

さあ、「絶対に乗り切るぞ」という覚悟を持とう。ここで限界に挑戦する頑張りは長い人生に必ず糧となり、未来を切り拓く原動力となるはずだ。

2年小論文講演会 「社会」を考える

11月19日(土)3・4時
目、四十周年記念館におい
て、第2学年を対象に、小
論文講演会が実施された。
今回も講師に、「学研 教
育みらい」の大堀精一氏を
お招きし、「小論文を通し
て社会を考える」というテ
ーマでお話しいただいた。



大堀先生の話真剣に聞く

2年生を対象としている
のは、来年度に向けて、生
徒たちの意識の向上を図る
ことと、志望理由書を書く
際に、生徒たちが自身の志
望学部と社会との関わりを
目を向ける意識を持つこと
を目的としている。

講演は、「いい答案を書
くポイント」、「社会問題に
向き合う」という2つの内
容で展開された。「いい答
案」とはどのような答案か
ということ、物事を常識と
は違う視点から考えるとい
うこと、想像する力が大切
であること、現在の様々な
社会問題についての大堀先
生の考察などを聞き、生徒
たちはそれぞれに考えを深
め、自分のこととして最後

まで真剣に講演会に参加
していた。

栃木市議会議員との 意見交換会行われる

11月24日(木)、図書館大
会議室において、本校高校
1、2年生の代表計15名と
栃木市議会議員計7名との
意見交換会が実施された。
この7名の市議の中には本
校卒業生4名も含まれる。



活発な意見交換をする

意見交換会は2部構成と
なっており、第1部では議
会の説明や議会クイズ、議
員への質問が行われた。第
2部では生徒が5名ずつの
3グループに分かれ、分か
れた各グループに市議会議
員が数名ずつ付き、意見交
換会が行われた。「もし栃
木市の議員になったらど
んな政策を行うか」という
テーマで話し合いが行わ
れ、各グループの生徒たち
は市議会議員からアドバイ
スをいただきながら、自由
に意見を出し合い、それぞ
れの政策を作り上げていっ
た。最後に各グループが考
えた理想の栃木市の発表
をし、意見交換会は終了し
た。意見交換会に参加した

いて市民の荣誉となる顕著
な功績を挙げ、栃木市の名
声を高めた人物・団体を表
彰する賞である。ラグビー
部は第101回全国高校ラグビ
ーフットボール大会で準優
勝を果たし、黒川さんは第
46回文部科学大臣杯全国高
校囲碁選手権大会全国大会
で準優勝を果たした。授賞
式には黒川さんとラグビー
部を代表して吉岡肇監督が
参加し、表彰を受けた。

11月2日(水)、栃木市役
所にて、令和4年度栃木市



大川栃木市長より表彰を受ける黒川さん

ラグビー部吉岡肇監督・囲碁将棋部黒川さん 栃木市市民栄誉賞 受賞

市民栄誉賞は芸術、文化、ス
ポーツ、その他の分野にお

「この度は、市民栄誉賞
を頂くことができ、光栄に



黒川さんと吉岡肇監督

して練習に励みたいです」
黒川 智美(S1年)

生徒の感想を載せておく。
「そもそも市議会で何を
やっているのかも分からない
状態だったので、そろそ
ろ選挙権を持つ今の時期に
市議会議員の方々と話せる
ことはとても勉強になった。
また、市議会議員と聞くと
堅苦しいイメージがあった
が、全然そんなことはなく
フレンドリーに接してくだ
さり、その点も新たな発見
だった」。



成果を発表する

「太平山を観光スポット
にする。県民の日を祝日に
するなど、栃木市民として
栃木市の発展のためにでき
ることを様々な意見を出し
合い、話し合うことで、議
会を身近に感じるとともに
高校生として自分たちで
できることを考える貴重な機
会となり、とても楽しむこ
とができました」。

田村 彩奈(S2年)

おいしいお茶新俳句大賞 五七五に 思いを込める

国語の授業の一環で俳句
を詠み、出品している「伊藤
園」のお茶新俳句大賞一
園おくりお茶新俳句大賞一
園において入賞作が発表とな
った。生徒たちは日々の
生活の中で感じたことを
五七五の中に工夫をしなが
ら表現していた。今年度の
受賞者と作品は以下の通り。

佳作
貴船 透太(N1年)
「川遊び天使の梯子空の
シャワー」
高橋 優乃(N1年)
「家守る弁慶ならぬ雪だ
るま」
金井 俊輔(B3年)
「ブラックホール冬の寒
さも飲みこんで」
大内 悠斗(B3年)
「夕焼けは沈むように溶
けていく」

囲碁将棋部 栃木県大会 個人戦団体戦共に優勝

れからも努力を重ねていきたいと思
います」
（個人優勝・団体
主将 黒川さん）

11月12日(土)、栃木県教
育会館小ホールにて、第44
回栃木県高等学校総合文化
祭囲碁大会兼第46回栃木県
高等学校囲碁新人大会が行
われた。

本校からは女子個人に黒
川智美さん(S1年)、女子
団体に黒川智美さん、秋元
瑚々さん(S1年)、阿部
姫奈さん(S1年)が出場、

女子個人、女子団体ともに
優勝し、令和5年1月7日
(土)、8日(日)に埼玉県で
行われる第38回関東地区高
等学校囲碁選手権大会の出
場が決定した。

「個人戦と団体戦の関東
大会に出場が決まり、とて
もううれしいです。春に初心
者の秋元さんと阿部さんを
誘い入部しました。最初は
上手く教えることができ
る不安でしたが、部活で基
礎基本を勉強し、家ではア
プリーで実戦練習を積みま
す。試行錯誤をしながら、励ま
し合い楽しく練習してきま
した。大会では全員が力を
出し切り、良い結果につな
がって良かったです。関東
大会でも個人団体とも一つ
でも多く勝てるように、こ

「団体戦で優勝すること
ができて、とても嬉しいで
す。私は高校生になって囲
碁を始めたのですが、黒川
さんが一から丁寧に根気強
く教えてくれたのと、仲間
と休み時間や放課後に練習
して成長できました。関東
大会に向けてさらに仲間と
切磋琢磨していきたいです」
（団体副将 秋元さん）

「団体戦で優勝できて良
かったです。入部した時は
ルールを知っている程度で
したが、良い仲間に出まれ
て顧問の関口先生や担任の木
村先生のサポートのおかげ
で練習環境も充実してきて
楽しくできるようになりま
した。関東大会に向けて少
しでも良い結果を出せるよ
うにがんばります」
（団体三将 阿部さん）



優勝して喜ぶ3人

5教科主任より受験生へ

冬期休暇を迎えるにあたり、主に受験を迎える3年生に向けて5教科主任から直前の学習について書いていただいた。

【国語】

現代文は共通テスト型の問題や赤本などの演習を中心とした学習を心がけましょう。その際には必ず時間を意識して解き、解説まできちんと読むようにしてください。古典は単語や文法、句形などの知識を完璧にしましょう。特に漢文は文の構成を意識しながら文章を読むようにすれば直前でも点数は伸びますので、頑張ってください。

冬休みの生活について

生活指導部より

早いもので明日から冬期休暇が始まります。冬期休暇は年が改まることもあり、これまでの自分のあり方を振り返り、未来に向けて新しい目標を設定する時でもあります。保護者や友人に対して自分ができるように接してきたのか、新しい年をどう過ごしていくのか、新しい時代の中で自分はどのように歩んでいくのか、といった様々なことを、携帯電話を置いてゆつくりと考えてみてください。

【英語】

長文読解の練習を通して、語彙力、文法力、構文力を総合的に高めていきましょう。リスニングは短期集中で伸びるので、直前にしっかりと取り組ましましょう。また自分が受ける試験の出題形式を研究し、対策を立ててください。問われる分野を見極め、計画的かつ重点的に対策を立てていきましょう。要約や自由英作文では担当の先生に添削を頼んでレベルアップを図りましょう。皆さんの目標が達成されることを願っています。

【数学】

共通テストを含め、本格的に大学入試本番が迫ってきました。今できることは、

1つでも多く「知っている」を増やすことです。持っている問題集の難しい部分を復習したり、共通テスト型の問題をたくさん解いて、解説をよく読んで知識を定着させていきましょう。周りにはいる数学の先生をどんどん頼って、効率の良い学習をしましょう。

【理科】

理科の試験の目的は、教科書の内容を正しく理解しているかどうかです。志望校の入試過去問題に取り組み、出題傾向をつかむだけではなく、間違っているところを、もう一度教科書に戻って確認するようにしましょう。また、入試では探究問題が多く取り扱われます。

す。教科書の「探究活動のコーナーをよく読み、何に気が付くべきなのかを理解しましょう。」

【地歴公民】

文系の日本史・世界史については、膨大な知識を暗記するだけでなく、因果関係によって知識どうしを強く結びつけるようにしましょう。理系の地理については、地図・グラフ・表・写真を普段からよく見て、できるだけ多くの情報を引き出せる訓練をしておきましょう。

政治経済、現代社会については、新聞・テレビ等を通して、今まさに起きている出来事に関心を持つようにしてください。

不正行為は厳禁。

- ・ 高校生として望ましくない場所への出入りはしない。
- ・ 外出の際は帰宅時間に注意し、外泊は控える。

《交通安全について》

- ・ 交通マナー、規則を遵守し、事故等に巻き込まれないよう注意する。
- ・ 自転車を利用しながら、歩きながらのスマートフォン利用はしない。

《情報モラルについて》

- ・ 公序良俗に反する行為他人を傷つける内容、第三者を誹謗中傷する内容、高校生として社会的にふさわしくない内容であるメール、画像の掲載等は一切禁止する。
- ・ 3年生の普通自動車免許
- ・ 登下校時は制服を着用。
- ・ 飲酒、喫煙、暴力行為

第102全国高等学校ラグビーフットボール大会 Bシードに選出 「規律と執念のタックル、鉄壁のディフェンスで優勝目指す」

ラグビー部は、12月27日(火)から来年1月7日(土)にかけて、東大阪市花園ラグビー場で開催される第102回全国高校ラグビーフットボール大会に出場する。本校はBシードに選出され、初戦は12月30日(金)、茗溪学園高校(茨城県)と光泉カトリック高校(滋賀県)の勝者と対戦する。前大会準優勝を越える「優勝」を目指し、規律と執念のタックル、鉄壁のディフェンスで戦うフィフティーンの活躍に期待がかかる。



リーダーに インタビュー



キャプテン
伊藤選手

「チームの良いところは」
全員の目標が統一されていて、真面目にラグビーに取り組んでいるところ。
元気で仲の良いチーム。
「花園の見どころ」
フォワード8人が全員3年生の結束の高いモール



バイスカプテン
櫻井選手

「チームの良いところは」
今年の目標を全員が「花園優勝」と答えられるところ。

「応援してくれる方々へ」
皆さんの応援がとても力になります。花園優勝に向かって戦います。応援よろしくお願いします。

背番号 ポジション	選手名	学年	身長/体重	監督から見た選手像
1 PR	木村 陽太	B3	175cm/100kg	不動の左プロップ
2 HO	尾池 政人	B3	167cm/87kg	強烈なロータックル
3 PR	佐藤 蒼	B3	177cm/118kg	スクラム・モールで威力発揮
4 LO	岡部 義大	B3	178cm/89kg	攻守の要
5 LO	大谷 亜蓮	B3	181cm/96kg	空中戦の要
6 FL	青木 梨駒	B3	174cm/86kg	コンタクトに強い
7 FL	櫻井 瑛太	B3	170cm/86kg	先頭に立って体を張る
8 No.8	北村 優	B3	176cm/88kg	鋭いライン参加
9 SH	小倉光希矢	B2	164cm/68kg	素早いテンポ・正確なパス
10 SO	伊藤龍之介	B3	170cm/72kg	抜群のリーダーシップ
11 WT	島崎 聖弥	B3	163cm/67kg	スピードあるランニング
12 CTB	福田 正武	B2	170cm/74kg	7人制のスペシャリスト
13 CTB	山田 壮	B3	178cm/86kg	縦に強い大型CTB
14 WT	大友 佳介	B2	175cm/72kg	スピードNo.1トライゲッター
15 FB	青柳潤之介	B3	177cm/82kg	抜群の突破力



フォワードリーダー
木村選手

「チームの良いところは」
仲良し。
「花園の見どころ」
セットプレーに注目。スクラムの安定性には自信

「花園の見どころ」
フォワードのスクラムやモールなどのヒットプレー、展開力のあるバックスのアタック。執念のタックルで相手を前に出さない全員ディフェンス。



バックスリーダー
島崎選手

「チームの良いところは」
ディフェンスを軸に有利な試合展開ができるところ。アタック、ディフェンスともにバランスのとれたチーム。
「花園の見どころ」
フォワードとバックスが一体となった展開力のあるアタックに注目。

がある。ラインアウトからのモールにも注目。

下野書道展

第55回記念下野教育書道展中央審査会が10月4日(火)に実施され、「いちご一会とちぎ国体」をテーマに、計6万1776点の応募があり、県内10地区での審査を経て、2366点が中央審査会へ進んだ。本校の受賞者は次の通り。

【金賞】

- 町田 瑠那(S2年)
- 石川 詩織(A1年)
- 符 文媛(中3年)
- 佐々木胡夏(中1年)

【銀賞】

- 三浦 春奈(S2年)
- 原田 茉彩(A2年)

教務日誌抄(高校)

(12月)

- 11月30日(水) 手塚 晴望(S1年)
- 12月5日(月) 期末試験
- 1日(木) 美化の日
- 3日(土) 振替休日
- 10日(土) GTEC
- 11日(日) 第7回入試説明会
- 14日(水) 1年キャリア講演会
- 17日(土) 20日(火) 三面面談
- 17日(土) 成績判定会議
- 20日(火) 終業式 壮行式
- 21日(水) 26日(月) 冬期講習

【訂正】

723号3面「とちぎ秋まつり」の記事の3段目
南玲奈さん↓南恰奈さん

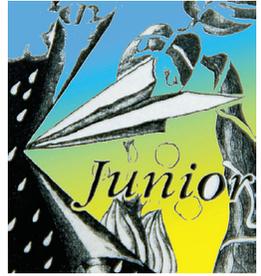
●各コースは、次の記号で表示されます。

中高一貫コース	N	S	T	A	B
特別選抜Sコース					
特別選抜コース					
選抜コース					
文理コース					

校外学習

1年 日光方面 2年 北陸方面 3年 関西方面

秋たけなわ 文化に触れる



中学校では11月9日(水)から11日(金)にかけて校外学習が行われた。コロナ禍の実状を踏まえ安全面を考慮した上で実施に至った。1年は日光方面に日帰り、2年生は金沢、白川郷に1泊2日、3年生は京都、奈良に2泊3日の行程で出発した。各学年とも事前に調べ学習を行って現地を訪れることで、発見の多い楽しい学習となった。



白川郷を散策

2年生

11月10日(木)～11日(金)、2年生は初日に金沢市内を、翌日には白川郷を、それぞれ班別に見学し

印象に残ったところは初日は二の丸の石垣が立派な金沢城と、紅葉に彩られた兼六園です。霞ヶ池に映る松は綺麗な姿をしていました。2日目は、白川郷を見下ろす展望台からの景色が素晴らしかったです。僕はHR委員として集合時の点呼をとるなど、責任を感じて大変でしたが、良い経験をさせてもらいま

(2)の1 堀江 隆太
1日目の金沢市内班研修では、バスの渋滞で、予定が狂ってしまいました。が、班員で話し合っ

3年生

11月9日(水)～11日(金)、3年生は初日に新幹線で京都に入りクラス別研修を行い、翌日、翌々日は奈良で班研修を行った。天候に恵まれ秋の古都を満喫する旅になった。



宇治平等院にて

今回の校外学習では、初めての班研修や宿泊行事を、友人と一緒に行動することで多くのことを学べたのではないかと思います。京都では二条城の鶯張り

平等院では鳳凰堂を見たりしました。奈良では日本最古の神社である大神神社や、紅葉の美しい談山神社、橿原神宮などを拝観しました。どこも歴史や風情を感じ

(3)の1 符 文媛
コロナ禍でできなかった宿泊行事を体験して、とても嬉しかったです。普段はなかなか見ることのできな

1年生

11月10日(木)、1年生は日光東照宮を巡った後、二荒山神社に参拝した。事前の調べ学習では、積極的に疑問を見出して検証する態度を心がけた。



陽明門を仰ぎ見る

(1)の1 茶谷 和紀
今回は朝9時に東照宮五重塔前に現地集合だったので、目標のひとつである「5分前行動を心がけて時間に余裕を持って家を出ました。東武日光駅からは、混雑の状況を見て、歩いて集合場所に向かうことにしました。事前に自分の住む栃木県の誇れる場所を調べていたので、いくつもの新しい発見がありました。今後は栃木県の魅力を広く伝えていきたいと思いました。

校外学習発表会

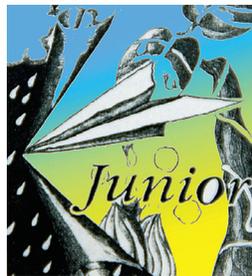
校外学習後、各学年において校外学習発表会が行われた。1年生はプレゼンテーション能力を高める良い機会となった。2年生はSDGsの観点から文化や自然との関わりについての発表がなされた。3年生は海外研修への意識付けもあって、英語でのスピーチとな



日本文化を英語でプレゼン(3年)

(1)の2 佐々木翔夏
り、英語で日本文化を表現した。

有意義な時間を過ごそう



2学期が終わり、冬期休暇を迎える。今年も終わりが近づいてきたが、それぞれが自身に掲げた目標は達成できただろうか。新年を迎えるにあたってこれまでを振り返り、締めくくりの3学期に向かう準備期間になるよう、時間を有効的に活用しながら有意義に過ごしてほしい。

全校マラソン大会

11月17日(木)に、全学年を対象に第28回マラソン大会が実施された。今年度は11月にしては暖かい天候の中で大会が実施された。

男子のコースは全長4.5キロメートル。女子のコースは全長3.5キロメートル。発走前には、それぞれ気合いを入れながら準備する姿があった。生徒たちは一生懸命に走り、大会に参加した生徒は寒さに負けることができ、全員が終了するには表彰が行われた。

結果は以下の通り。

【団体の部】

- 優勝 1年1組
- 準優勝 3年2組
- 第3位 3年1組

自己管理をしっかりと

【学習(冬期講習)】

冬休みに入ってから学習習慣が途切れぬよう、冬期講習が行われる。国語・数学・英語・理科・社会の5教科バランスの取れた学力向上を図り、1月末に実施される「第3回学力推移調査」にも繋がる力をつけていく。

【生活の注意】

・携帯電話、スマートフォン、SNSの使い方には十分注意すること。他人の権利を侵害するような行為は絶対にしてない。

【男子個人の部】

- 第1位 市川泰太(2の2)
- 第2位 登坂太晴(2の1)
- 第3位 鳥羽山志(2の1)

【女子個人の部】

- 第1位 山内 梓(1の1)
- 第2位 白井肇(2の1)
- 第3位 須藤有咲(1の2)



山内さん 白井さん 市川さん 登坂さん 須藤さん 鳥羽山さん

ン、SNSの使い方には十分注意すること。他人の権利を侵害するようない行為は絶対にしてない。

・交通ルールを遵守すること。特に自転車は運転マナーに気を配り、事故には十分気を付けること。

・外出は保護者の許可を必ず得ること。その上で、社会のルール・マナーをしっかり遵守し、行動すること。

・事故に遭った時は、必ず担任もしくは学校に連絡すること。

「変化」に対応できる力を

情報科 岩島 修平

本校に来て4年目を迎え、今思うことは、変わる環境に順応することの難しさだ。私は、大学までサッカーを続け、大学在籍中では大きく卒業後に教員免許を取得した後、前任校で教師として、またサッカー部の顧問としての経験をスタートした。それまでも、母校のサッカー部の外部コーチとしての経験はあったが、何よりも住み慣れた場所を離れること、そして、見知らぬ土地で初めて教員としての仕事に就くという、新しいことづくめの日々には不安があった。教員としてサッカー部の顧問として、また、寮監として勤めるという、ほぼ24時間を高校生と生活することが自分ができるだろうかという不安も大きかった。が、それを解消する力になったのが、恩師や先輩たちの言葉だった。自分にとって全く経験のない生活環境にも必ず先を歩いている先輩たちがいるものだ。私を新しい環境に送り出したくれた母校の恩師ももちろんだが、周囲を見回せば新人同様の私を受け入れた前任校でもそれは同じだ。その先輩たちに自分の話を聞いてもらうことが自分の不安を解消する方法だった。

ること。

◎自己の生活に自覚と責任を持つこと

お〜いお茶新俳句大賞

毎年、国語の授業の一貫で取り組んでおり、今回は都道府県賞を受賞した。以下、受賞者と受賞作品を掲載する。

都道府県賞

高森 亜門(3の1)
「勾玉に似た秋茄子に卑

弥呼みる」

佳作

西山 詩菜(3の2)
「雪かきの乾いた音が目覚ましに」

佳作

生澤 悠人(2の1)
「山笑うつられて父と母笑う」

佳作

佐々木桃寧(2の2)
「雨の音傘に隠れて恋焦れ」

教務日誌抄 (中学)

(12月)

- 11月30日(水) 12月5日(月) 期末試験
- 6日(水) 採点日
- 7日(木) テスト返却日
- 9日(金) 税教室(3年)
- 10日(土) 第2回入学試験
- 16日(金) ボキャブラリーコンテスト
- 17日(土) 20日(火) 三者面談
- 20日(火) 終業式
- 21日(水) 26日(月) 冬期講習

